衣山西ノ岡古墳　現地説明会資料

財団法人松山市文化・スポーツ振興財団
埋蔵文化財センター

〔調査の概要〕

所 在 地	松山市衣山三丁目 641 番、642 番、647 番 1･2･3 の各一部
調査期間	平成 23 年３月１日 ～ 同年４月 15 日
調査面積	約１３６㎡
調査主体	(財) 松山市文化・スポーツ振興財団　埋蔵文化財センター

1. 調査の経過

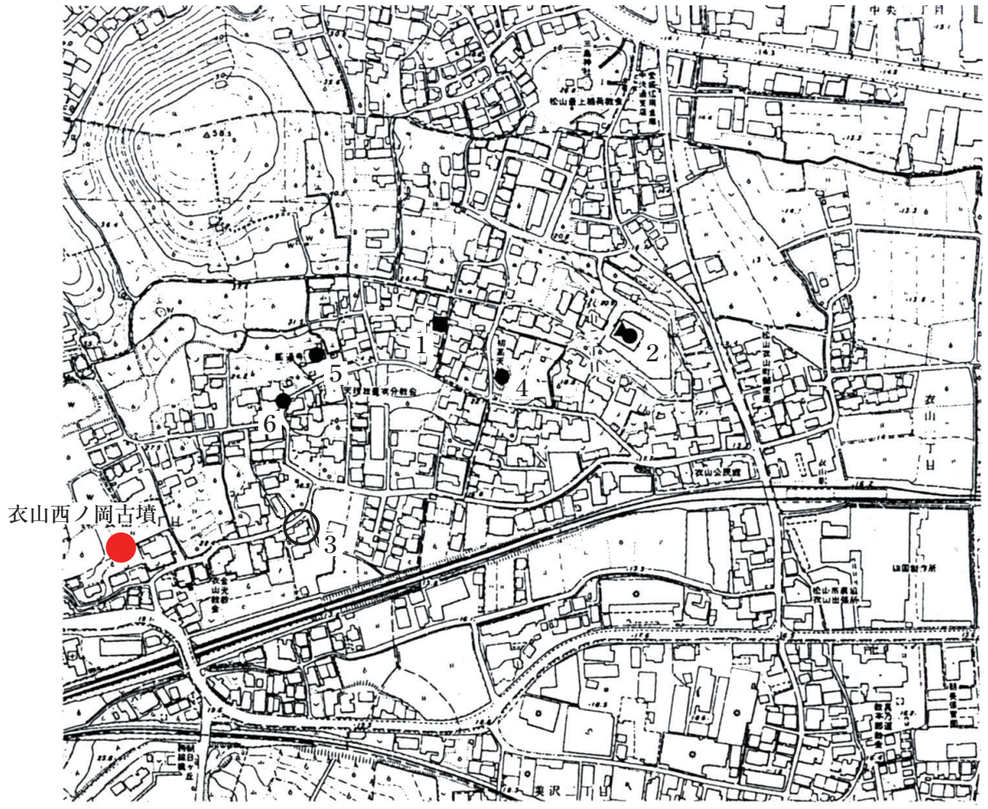
今回の調査は、松山市が指定する埋蔵文化財包蔵地の『No.20 永塚古墳』内における宅地造成に伴う発掘調査です。

調査地が所在する松山市衣山地区では、伊予鉄衣山駅北西部の丘陵上に永塚古墳（昭和 59 年度調査）があり、７世紀前半の前方後円墳として古くから知られています。また、近年では調査地北東部の丘陵上にて衣山北組遺跡（平成 21 年度調査）の発掘調査が実施され、弥生時代から古代にかけての建物跡や遺物が多数発見されています。

写真１　衣山西ノ岡古墳全景（西より）

2.　調査で見つかったもの

調査では、周溝１条、溝１条、土坑７基、柱穴２７基が見つかりました。周溝は古墳（衣山西ノ岡古墳）に伴うもので、古墳の築造時期は古墳時代後期、６世紀中頃と考えられます。遺物は弥生土器、土師器、須恵器、陶磁器、埴輪、管玉、鉄製品、石器が出土しました。

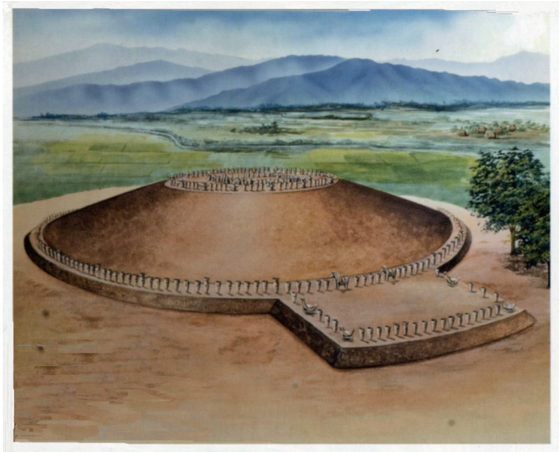


１．衣山北組遺跡　　２．永塚古墳　　３．衣山窯跡（推定地）　　４．初鷹さん
５．圓通寺の地蔵尊　　６．大井川の井戸

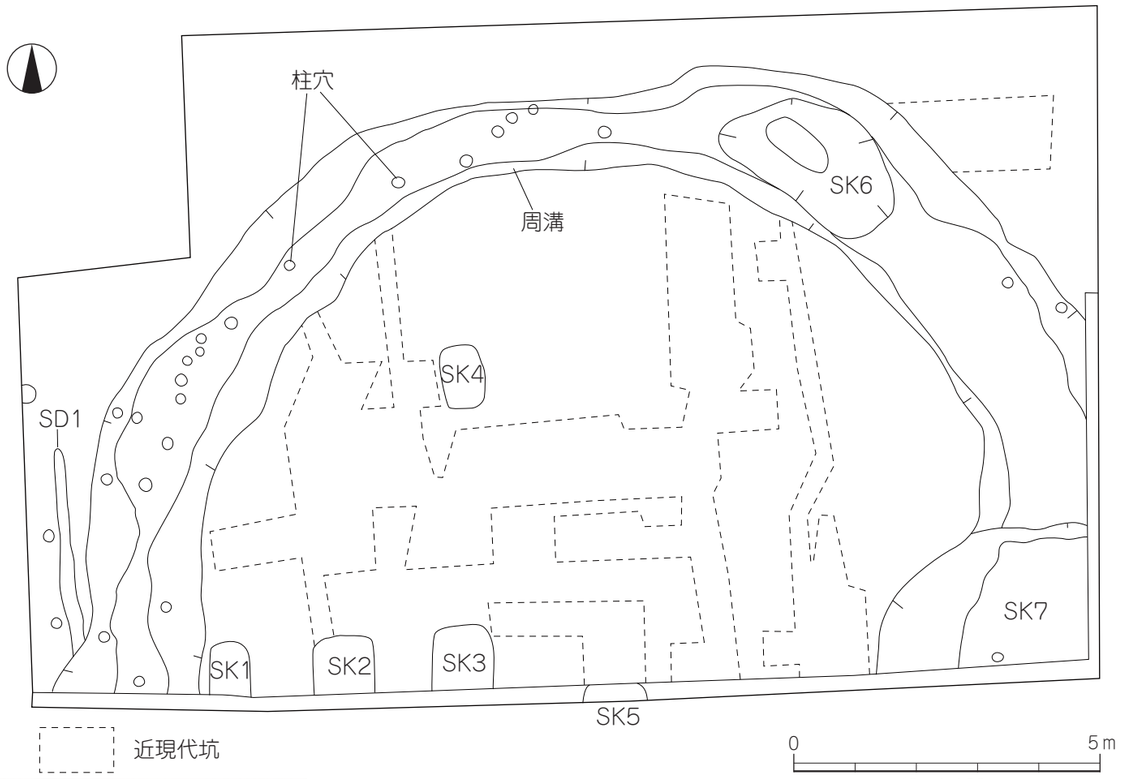
第１図　周辺の遺跡や史跡

写真２　調査前全景（西より）

写真３　SK6 円筒埴輪出土状況（西より）



古墳の想定復元図



第2図　遺構配置図

古墳の墳丘は破壊され、
周溝が残っています。

写真４　円筒埴輪・須恵器出土状況（北より）

写真５　周溝断面写真（北より）

（前列左側の円筒埴輪：高さ 50cm）

埴輪（はにわ）と須恵器（すえき）